

「東京の水の歴史を知ろう（下町編）」

～荒川を中心に治水と水再生の歴史を探る～



猛暑の中、みなさんどのように夏休みをお過ごしですか？

さて、東京教組「水の歴史を知ろう」ツアーも3回目になりました。今回は下町の水の歴史を学びます。

昔から荒ぶる川といわれ氾濫を繰り返してきた荒川。岩淵水門から下流は「放水路」という人工河川だということをご存知でしょうか。日本で初めて作られた污水処分場の美しいレンガ造りのポンプ施設を見学。最後に有明の巨大な水再生施設をじっくり見学します。楽しく、でも授業などにしっかり役立つ見学会です。自分たちが働く東京を知る良いチャンスです。参加して東京の新しい面、発見しませんか。

日時 10月13日（日）

新宿駅西口8時15分集合
4時ごろ解散予定

見学場所 荒川治水資料館（フィールドワーク）、
旧三河島污水処分場ポンプ場施設、三河島
コリアンタウン、有明水再生センターなど

交通手段 貸切バス

費用 500円（組合未加入者は無料。食事代のみ
ご負担ください）

申し込み先 東京教組 FAX 03-5276-1312

最終締切 10月5日（土）まで

誰でも参加できます。お友達を誘って、参加してください。裏面の申込書に必要事項を記入して、東京教組までファックスで申し込んでください。

たくさんの方の参加をお待ちしています。

主催 東京都公立学校教職員組合（東京教組） TEL 03-5276-1311

「東京の水の歴史を知ろう」参加申込書

氏名	勤務校	住所	連絡先 (携帯電話など)

この申込書を10月5日までに東京教組までファックスしてください。

ファックス番号 03-5276-1312